

校種	有意義	回答の理由	「地域創造学」に期待したいこと	意見・感想
小学校	そう思う	自分のふるさとのよさを具体的にいくつも言える子どもたちに育っているから。住田の良さを感じることは、住田を守ることにもつながると思われる。	子どもたちと同じ目線で土俵に立ち、住田の良さを見つめることは大変興味深くまた驚きや楽しみと共に自分自身も学ぶことができました。どんなふうにも指導を工夫すると、子どもたちにより住田のことを理解させることが出来るのかと試行錯誤することも楽しかったです。新しい教科を創造する楽しさを感じました。	令和3年度の学校公開へ向けて、今まで以上に地域や各学校が協力して、チーム住田の底力をみせてほしい。心からそう思います。
小学校	そう思う	地域創造学を続けて学習している学年(今年度3年目を迎える子どもたち)は、特に地域への関心が強く、調べ学習も充実していると感じるから。	私は、特別支援学級担任ですので、直接指導には関わりませんが、交流する学級は同じですので、子どもたちが変容していく様子が分かり、学びが多かったように思います。	子どもたちは、ステージごとに学びを深めていきますが、指導者は転勤により、新しいメンバーになりますし、1年目すぐに地域理解をし指導を進めていくには、難しい教科であると感じました。
小学校	そう思う	地域を理解することで、地域愛が高まった。地域に貢献したいという気持ちをもてた児童もいた。	事前に単元について調べることで、見通しを持って指導することができた。これは、どの教科も同様のことがいえるので、これからの指導に生かしていきたい。	地域を理解することで、地域愛が高まり、自分の地域を誇りに思うようになる。地域を誇りに思えることは、これからの住田町を築き上げていく上で、とても重要なことだと感じる。
小学校	そう思う	地域創造学は、未来の社会を形成するために必要な、社会的実践力を育成するための新教科であるから。	育成すべき資質・能力の内容としての12の資質・能力、また、地域創造学の探究のサイクルのような、様々な捉え方があることを学びました。	地域創造学の学びが、未来の学習指導要領に反映されるものとして、文部科学省が求めるようなものとなっているかどうかを考えていきたい。
小学校	そう思う	地域のよさを小学校段階で詳しく学ぶことで住田の魅力に気付き、将来住田町で働く人材が増えると思うから。	今年度転任してきましたが、子どもに教える前にまず自分が学ばなければいけなかったため、最初のころは少し負担に感じておりました。ただ、子どもたちとともに自分も学ぶ中で、住田の魅力に気付き、もっと子どもたちや他の地域の人たちに伝えていきたいと感じるようになりました。	
小学校	そう思う	身近な地域の現状を知るきっかけになる学習であり、地域とどう関わっていききたいか考えることが児童自身の成長につながっていると感じるから。	児童の学びに効果的な資料やデータの選び方や単元計画作成、評価方法について学ぶことができた。	
小学校	そう思う	ふるさとのことを知ってふるさとを好きになる子どもを育てられるから。	住田の歴史、観光、町づくりなどについて知ることができた。地元の良いことに気付かせることの大切さを学ぶことができた。	
小学校	そう思う	子どもたちのふりかえりや自己評価の中に、「初めて知った」「今までは考えたこともなかったけど」「これからは」という言葉が多く、自分事としてとらえているという実感があるため。	体験ありきではなく、意図的に仕組むことの大切さや、学習自体に学意義を持たせることの大切さを感じた。	・側の整備は絶対に必要と思います。(指導要領や資質能力の系統表・単元計画の見直し)・人員の増員(学校ごとに担当の指導主事をおくこと、複式解消のための人員配置など)
小学校	そう思う	地域を知り、地域に貢献する児童・生徒や地域を好きになる児童・生徒が育成していけるから。	有住の素晴らしいところや歴史的財産ががたくさんあり、特色ある教材として開発できそうなものがたくさんあるから。	世田米・有住という学校区での学習ではなく、どちらの地域でも共有できる学習が進められればいいなあと思います。

校種	有意義	回答の理由	「地域創造学」に期待したいこと	意見・感想
小学校	そう思う	・町全体での共通理解のもと、資質・能力を系統だてて身に付けることができる機会となる。	・自分の学年だけでなく教育課程全体・発達段階を理解することが重要であり、そのような教育が必要であること。	・もっと町内の相互授業参観・研究会参加が必要だと思ふ。・相互の話し合い・協議の場が必要である。 ➡ 教育委員会で場や時間の設定があるとよいのではないかと思ふ。
小学校	そう思う	校内における独自のアンケート調査の結果から、子どもたち自身が地域創造学の学習の結果から自分の成長を自覚しているため。	学習が自分事となることがこれほどまでに子どもたちの学ぶ力につながるということ。	地域創造コーディネーターの方と教育委員会を通してやメールでのやり取りではなく、直接やりとりできるようにしてほしい。
小学校	そう思う	自分が住んでいる住田町のことを学べるから。地域の方とも触れ合いながら学べるから。	住田町の学習材を学べば学ぶほど楽しくなる。地域のことが分かるっておもしろいと思ふ。	研究授業には、ぜひ5つの学校が参加し、研究会にも参加して研究を共有し深めていくことが必要だと思ふ。授業研交流をするときは、指導主事の先生方も研究会に参加していただくと成果や課題も共有できてよいと思ふ。
小学校	どちらかといえばそう思う	地域に対しての愛着を育んでいる。	地域の方から学ぶことが多い。	特にありません
小学校	どちらかといえばそう思う	自分の町のことについてより詳しく知れるから。	自分自身が住田のことについて無知だったため、自分が実際に見学先に足を運びお話を伺ったりしたことがよい教材研究だったと思ふ。	
中学校	そう思う	地域理解や社会参画能力を高めるために有意義だから。加えて、学校の外に目を向ける良い機会となる。	地域の人材を活用することで、新たな学校教育の可能性が見い出せること(地域理解、地域交流など)	
中学校	そう思う	自ら課題を見つけ共に考え深め合いこれからの社会に必要な力を育むことができる取り組みだから	発表の交流は回を追うごとに学びの広がりや伝えあうことの楽しさにつながっていると感じる	社会的実践力を身に付けるために12年間の系統性を考えた上で『いま何を学びどのような力を育むか』を考えて指導にあたりたい。
中学校	そう思う	生徒の自主性の伸長が期待できるから。		ずっと続けられるように願っています。
中学校	そう思う	様々な面で苦労や課題はあると思ふが、生徒の様子から課題選択、課題解決家庭での自己決定、報告会等の表現活動を見ると大いに成長していると思ふから	生徒の意欲や考え等を導く「問」の重要性を改めて学びました。	地域創造学は、子供たち自身が自らの手で未来を切り拓くための育成になっている。そして、ソサエティ5.0やsdgsにおいて今求められている人材育成にもつながっていると思ふ。大変なことが多々あるが、何とか協力しながら一つでも多くの成果をあげたいものだ。
中学校	そう思う	これからの社会を生きるために必要な資質・能力が網羅されていると思ふから。	地域の方々、行政、他校種、他の学校、他の先生方と協働することの難しさ。だからこそそれを乗り越えることの意義は大きかった。	この研究を進める仲間から離れてしまうのが惜しいです。これからの社会で生きていく子供たちに必要なものが詰まったこの科目は、先端をいくものと思ふます。先生方に胸を張っていただける価値ある研究でした。生徒たちが想定外の成長を見せてくれ、私たちもワクワクする科目です。どこへ行っても応用可能なものをいただき、心から感謝しております。

校種	有意義	回答の理由	「地域創造学」に期待したいこと	意見・感想
中学校	そう思う	他教科ではできないことにも取り組めるし、他教科や生き方につながる力や土台を築くことができると思うから。	教師は先導ではなく、伴走であることを学んでいます。どの教科、指導でも同じことが言えると思うので、伴走であっても、子どもたちの想いを盛り上げていける指導力を身に付けていきたい。	赴任した当時はわけが分からず、この教科の良さも見ていませんでしたが、ようやく流れがわかってきて、おもしろさも感じるようになりました。誰か任せではなく、みんなで取り組んでいきたいです。
中学校	そう思う	地域の人々から学ぶことで、様々な大人とふれあい、その人の生き方や思いを学ぶことができる。	地域に住む外国人のためにごみの分別法をわかりやすく教える方法を考えた高校生の発表を聞いて、困りごとを真剣に考えているのだなど、感心した。	
中学校	そう思う	地域のことを知ったり、自分で探求する力、仲間や地域の人などとかかわりあって自発的に取組を進める活動は、生徒にとって有意義だと思います。		
中学校	そう思う	学習のプロセスがしっかりと組んであり、生きる力の育成に役立っているから	小中、中高のつながりの中で、継続した地域創造学を通して生徒の学び確実な積み重ねの実践の大切さ	
中学校	そう思う	地域学習は、地域創造学で掲げる資質・能力の伸長に有効だと思います。また、外部との連絡の取り方やゲストティーチャーとの接し方など、社会に出てから役に立つことを身に付けることができます。小中高の連携が滑らかな接続につながり、地域で子供たちを12年かけて育てていることが実感できるからです。	住田の良さや魅力にたくさん触れることができました。特に、地域の歴史と人材、ここに住んでいると気がつきにくい良さなど、子供たちの探究心につられて学ぶことができました。子供たちの「住田の良さを発信したい」「住田に地域貢献したい」という強い思いに、感心させられることが多かったです。	地域創造学の学校公開が、とても楽しみです。地域創造学とともに、学力向上やタブレットPCの活用にも取り組んでいってほしいです。
中学校	そう思う	未来への思考能力が育つから。	子ども達の無限の可能性。	地域の方々との交流の機会を増やす。
中学校	どちらかといえばそう思う	社会的実践力の育成に向かって年間を通して取り組みを進めているため。ただし、心理学や社会学などの科学的な見地から社会的実践力の発達段階を裏付ける必要がある。	各学年で実践可能な社会参画の在り方を、実践を通して生徒と共に思考することができたこと。社会的実践力・社会参画を軸において、異校種のつながりを意識しカリキュラムを開発したり、カリキュラムマネジメントを実施したりできたこと。	全国から参観にくる先生方は、「異校種連携」に加えて、「総合的な学習の時間」と「地域創造学」の違いに興味があると思います。「異校種連携」については、ここ3年間の実践で十分な見地を蓄積することができたと思います。今後は、「総合的な学習の時間」と「地域創造学」の違い、すなわち「教科の固有性」を具体化する必要があると思います。
中学校	どちらかといえばそう思う	成長に合わせて、住田町の魅力などを考えることが出来る取り組みだと思う。この先、続けるにあたっては1年間の取り組み時間は少ないように思われる。	住田町に赴任して3年目になり、地域創造学によって地域を知ることができた。また、中学生の住田町への想いを知ることが出来た。	
中学校	どちらかといえばそう思う	取り組み方、取り組みませ方によって、違いが出てくる。支援に仕方しないで、有意義にならない場合も考えられるから。	住田町の良さや魅力、取り組んでいること等を知ることができた。	今まで各校で取り組んだこと、協力して下さる方々等を自由に閲覧できるようにできれば、次年度の取り組みのヒントになるのではないかと思います。

校種	有意義	回答の理由	「地域創造学」に期待したいこと	意見・感想
中学校	どちらかといえばそう思う	地域の良さや実態を知りながら、それらを改善していくためにはどうすればよいのか等、自分で考えたり発信したりできるから。主体的な学習になるから。	住田町に、外からいろいろな人達が町おこし？のために入っている。町民でも知らない取り組みがあったりする。	人材バンクのような所があるとよい。講師のお願いや取材活動等をする時に、いちいち地域創造学とはどのようなものかから説明しなくても話を通じると、教師側の負担も減らせるのではないかと。住田町内の小・中・高を挙げて、このような取り組みをしていますというアピールが、もっと必要かと思う。例えば、新年交賀会のような場面で、町内の事業者の方にも知ってもらおうとか。
住田高校	そう思う	地域の様々な方たちと交流したり皆の前で発表したりすることで、社会的実践力が身につくから。	生徒が地域創造学に取り組むことによって、最初は尻込みしていた生徒も積極的に友人や地域と関わろうとする姿勢が醸成されるということ。	幼小中高の接続を意識した取り組みは非常にすばらしいと思います。これからも異種学校間の密接な連携を目指していただければと思います。
住田高校	そう思う	総合的な探究の時間の代替教科としての役割を十分果たしている。具体的には、本校にとって主体的・対話的で深い学びを象徴する教科となっている。	主体的・対話的で深い学びを具現化する方法を模索中。	今のところは、研究指定は継続申請しない方向ですか。
住田高校	そう思う	答えが確かではないことに、試行錯誤しながら探究する体験は、現在の児童、生徒には必要と考えます。	生徒はスタートラインに立たせてあげれば、自走する。しかし、自分からスタートラインに立つ力が弱い。	もっと大人との関わり合いを持たせる。可能であれば、町の将来を考える会議などに高校生を参加させるなど。そういったワークショップなどを何度か開き、考えを磨いてからの話ですが、生きすぎた考えですみません。
住田高校	そう思う	地域を知る良いきっかけとなり、探究活動やプレゼンテーションの基礎を学ぶこともできるから。		
住田高校	そう思う	探究活動を通して、地域人材との接する機会／発表交流活動の経験を経て、自信と自己効力感を高められるから。	高校生は町外出身者が多く、異なる生育環境から、個々に多様な考えを持っており、交流を通して思考力を高めあえること。	町内在住の様々な分野の専門家の地域人材を活かした探究活動の在り方を確立できたらいいと考える。
住田高校	そう思う	社会について考え行動する力が養える。	高校生の視点は大人が思う以上にユニークである。	人と予算がつくのが好ましいが、、、いずれにしても継続させてほしい。
住田高校	そう思う	意欲的に取り組んでいる生徒の様子から感じられた。	住田町教育研究所管内の保小中と県立学校とが一体感をもって取り組むことが実現できたこと	
住田高校	どちらかといえばそう思う	探究学習の機会となっているため。	地域連携のありかた	
住田高校	どちらかといえばそう思う	自ら行動を起こす場面があるので、自主性や積極性が養われると考えているため。	指導の行き届きが生徒によってまちまちであるため、指示の仕方・方法・手段などあらゆる方向から考える癖が身についた。	現在のところ、特にありません。
住田高校	どちらかといえばそう思う	・町内の方との接触や交流により普段学ぶことの少ない大人への対応を学ぶことができる(電話の対応、敬語の使い方など)・住田町外出身の生徒に、学校が設置されている地元に対する理解が進む。		・住田高校における「地域創造学」は、「継続して」地域創造学を学ぶか、「新しく」地域について学ぶか、地元からの入学生徒数によってそのあり方が大きく変わると思います。